

# 総括質問

十一人から施政全般について  
総括質問が行われました。  
掲載は質問順です。

## 介護保険の今後の見通しは



久保 克己 議員

### 合併による

### 組合の枠組みは

**久保克己議員** 市町村合併が進められるなかで、川薩地区介護保険組合の枠組み、行政事務等はどうなるのか。

**北村町長** 一市七町四村で川薩地区介護保険組合が設置され、認定に関わる業務等を行っている。合併枠組み如何で、組合の構成団体の変更、解散といった状況になってく

ると思われる。一部事務

組合の取り扱いについては、既に川西薩地区法定協議会のなかで、研究協議が進んでいるようである。解散の方向性が示された場合、新たに認定事務に係わる電算システムの開発導入、認定審査判定を行う保険・医療・福祉各分野の学識経験者五名からなる合議体の設置等の複雑な事務が発生することになる。

**久保議員** 介護保険料の収納率や財政等、今後の推移をどう考えるか。

**町長** 今まで、順調な事業運営がなされたと考えられる。ここ数か月の給付費の状況は、予想を上回る

伸びを示している。収納率の低下により財源不足が予測されることから、

県財政安定化基金三〇〇万円の借入申請を行ったところである。

## 町消防団の再編成について

**久保議員** 町消防団の再編成に対してのメリットをどう考えるか。

**町長** 地域住民の生命と財産を守り、消化・防災活動はもとより、啓発活



町長の点検を受ける消防団員（H15年出初式）

動等広い分野で、地域防災活動の重要な役割を果たしている。過疎・高齢化の進む中山間地域の担い手で大事な存在、特に県北西部地震では、消防長官賞を受賞した。しかし、近年、就業形態の変化で、六割がサラリーマン団員で、出勤は難しくなってきた。また、高齢化で、団員確保に苦慮している実状である。

**再編成については、議会でも議論がなされ、提言もされている。これまでも、平川・白男川が統合がなされ、第二集団の三分団について、地元分団や後援会と協議を行い、山崎分団では十五年度から、二渡・久富木分団では、平成十六年度から再編成を行う予定である。八部が三分団になることにより、約三千万円の削減を見込んでいる。将来的には五台の消防車の更新が不要となり、約四千万円の経費削減となると考える。**